

久山中便り

久山中学校

令和7年7月17日発行

第27号

着衣水泳体験

三年生保健体育

夏休みも近くなってきました。暑い日が続くので、川や海へ出かける機会も多くなると思います。

そこで、水の事故に備えて、16日(水)の三年生の水泳の授業では、「着衣水泳」を行いました。

溺れたときは、「浮いて待て」。

小学校で体験した仲間もいたはずですが、実際にやってみると、なかなかうまくいかず、服がまとわりついて動きにくかったり、足が下がってきたりと、難しいようでした。

そこで、ペットボトルを上手に浮き具にすると、ふわふわ浮いたようになりました。実際、溺れた場面になると慌てたり、



焦ったりします。体験することを通して、万が一に備えることが大切だと感じました。夏休み中は、くれぐれも水の事故には注意してください。

保護者と学ぶ規範意識講話

NPO法人「子どもとメディア」から講師を招いて、「スマホ・インターネットの使い方」を学びました。

SNSのトラブルについては、本校でも、少なからず生じています。画像や動画をインターネット上で共有すると第三者に流れていくことがあります。

講話の中では、「なぜラインが無料なのか」という問いがありました。あまり考えたことのない質問でした。

回答は、「多くの人が参加すること、広告の宣伝効果が期待でき、その収集があるから」とのこと。

多くの人たちの参加(利用者数は700万人、日本の総人口の約70%)があれば、ビジネスだけでなく、悪用されることも、あわせて知っておくことが大切なようです。

今年の夏は、学校の端末



の持ち帰りができます。家庭のルール、学校のルールを守って、加害にも、被害にもならない使い方を身に付けましょう。

アナウンスコンテスト

第32回筑前地区アナウンスコンテストが福岡工業大学で開催されました。本校からも、放送部の皆さんが出場しています。

その中で、久山中学校を題材としたアナウンス原稿がありましたので、紹介します。

今日は、久山中サッカー部を紹介します。サッカー部は昭和48年に九州大会で優勝し、全国大会に出場した実績があります。そのサッカー部について、創部当時のメンバーだった阿部さんにお話を聞きました。

「52年経った現在でも、全国大会が行われた8/16にちなんだお盆と、正月にOB戦があります。そこでは、皆が近況を話すことで、繋がりを感じられます。部活動の地域移行など時代は変化していますが、歴史あるサッカー部を存続してほしいし、OBの皆さんは久山町の色々なところで活躍しています。私たちも、中学校の皆さんを応援しています。」といった、お話しでした。これからみんなで、久山中サッカー部を応援していきましょう。

素敵なアナウンス原稿です。久山中の各部活動のさらなる飛躍を期待しています。